

## 資料 2

# 新青森県総合運動公園 新水泳場等整備運営事業(仮称)について

平成30年11月14日

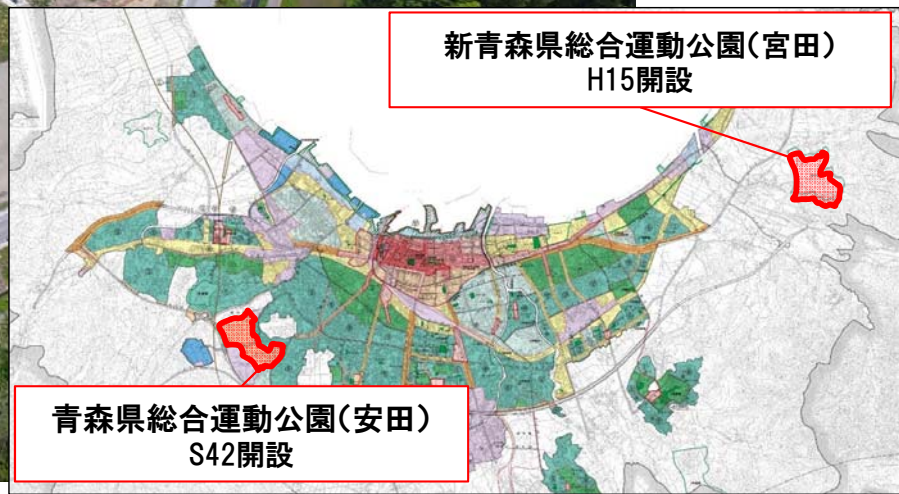
青森県 県土整備部 都市計画課 公園グループ

# 説明の流れ

- 1 新青森県総合運動公園の概要
- 2 新水泳場の経緯
- 3 PPP/PFI可能性調査（H29）
  - （1）調査概要
  - （2）事業手法の検討
  - （3）VFM算出結果
- 4 実施方針の策定・公表（H30～）
  - （1）PFI手続き
  - （2）実施方針の概要
  - （3）要求水準書（案）の概要

# 1 新青森県総合運動公園の概要

新青森県総合運動公園では、青森県総合運動公園における施設の老朽化、三内丸山遺跡の発見等により、順次**運動施設の移転整備**を進めている



# 1 新青森県総合運動公園の概要

平成23年度に策定された「青森県スポーツ振興基盤整備計画」に基づき、**陸上競技場の整備を最優先とし、平成31年度供用を目指し現在整備中**

**駐車場**

**新水泳場整備予定地**

**マエダアリーナ (H15完成)**

- メインアリーナ (64m×46m)
- サブアリーナ (46m×32m)

**テニスコート (H15完成)**

- コート数24面
- ナイター設備
- 砂入り人工芝
- 4,213席
- クラブハウス併設

**緑地広場**

**仮設アーチェリー場**

- 90m四方のフィールド
- 15レーン、30人立

**陸上競技場 (整備中)**

- 日本陸連 第1種公認陸上競技場
- 観客席数：20,000席超

**球技場 (H24完成)**

- 芝グラウンド
- 140m×83m
- ナイター設備
- 固定席1,500席

**その他の施設:** 25mプール (8レーン)、トレーニングルーム、合宿所、レストラン、多目的広場、投てき・アーチェリー場、補助陸上競技場

## 2 新水泳場の経緯

### 【現水泳場の課題】

- 青森県総合運動公園施設の老朽化
  - ・屋外50m水泳場（S41完成）
  - ・屋内25mプール（S51完成、**現在閉鎖中**）
- 国体の開催基準を満たす水泳場が県内に存在しない



↓  
国庫補助金の採択可能性や県の財政状況、国体の開催時期を踏まえて順次整備

### 【これまでの経緯】

- 平成27年度、**第80回国民スポーツ大会の本県招致**について知事表明
- 平成28年度、第80回国民スポーツ大会の**内々定**
- 平成29年度、**新青森県総合運動公園水泳場基本計画**（県教育委員会）を策定
  - ・基本方針、建築概要、プール仕様等について取りまとめ
- 平成29年度、**PPP/PFI可能性調査**を実施（県土整備部）
  - ・**社会資本整備総合交付金**の交付要綱が**一部改正**
  - ・**都市公園事業**における新規事業にPPP/PFI手法の導入検討が**要件化**



### 3 PPP/PFI可能性調査 (1) 調査概要

#### ● 調査概要

- ・前提条件の整理 : 事業経緯、立地条件、新水泳場計画概要、上位構想・計画、法令等
- ・事業手法の抽出・整理 : 従来手法、DB、DBO、PFI、P-PFIの概要・特徴整理
- ・運営計画の検討 : 運営方針、**運営業務項目、運営期間、利用形態、利用料金**
- ・民間事業者ヒアリング : ①**ヒアリング調査** (建設・維持管理・運営・金融計19社)  
: ②アンケート+追加ヒアリング調査 (建設・維持管理・運営計15社)
- ・VFM分析 : ①過去落札実績を用いたVFM算出  
: ②**民間事業者ヒアリング結果**に基づくVFM算出
- ・事業評価及び最適スキーム抽出 : ①**従来手法、DB、DBO、PFI、P-PFIの総合評価**  
: ②**管理運営範囲の検討**
- ・事業化に向けた課題  
・スケジュール整理 : 課題整理 (管理運営範囲、P-PFI、地元企業への配慮、スケジュール)

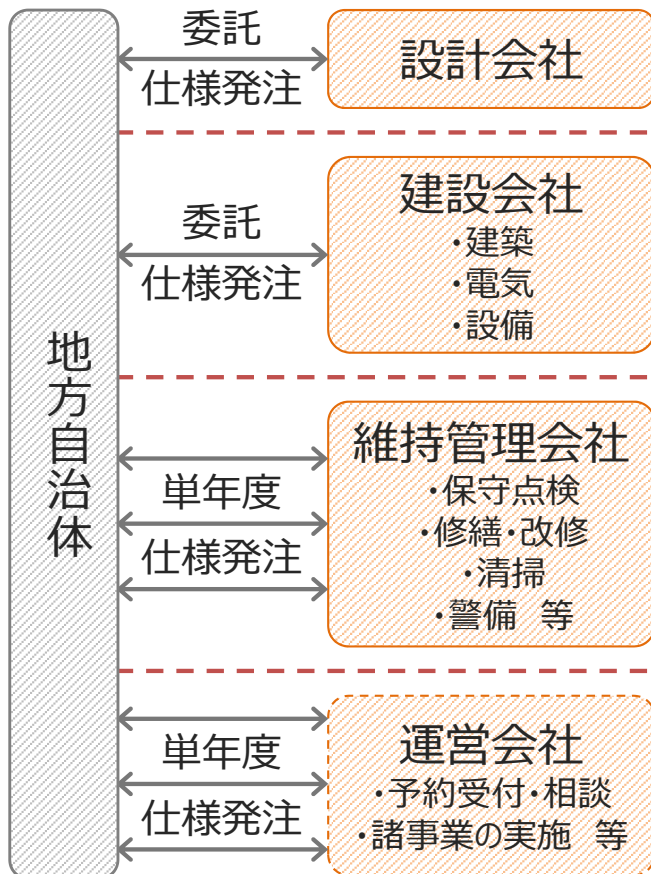
#### ■ VFM (Value for Money)について

- ・PFIにおける重要な概念の一つで、**支払い (Money) に対して、最も価値の高いサービス (Value) を供給**する考え方のこと。
- ・従来の方式に比べて、**PFIの方が財政負担額をどれだけ削減できるかを示す割合**

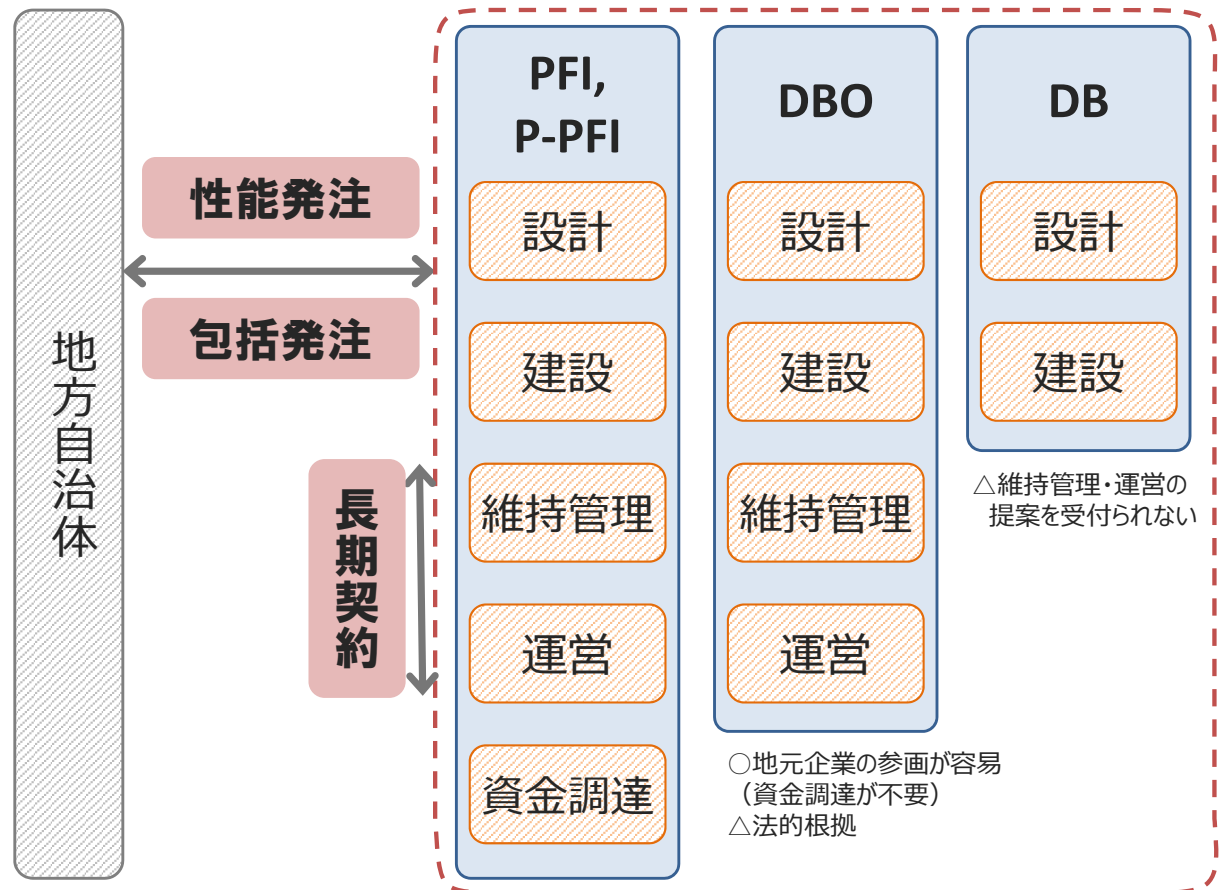
### 3 PPP/PFI可能性調査 (2) 事業手法の検討

PFI方式やDBO方式は、設計、建設、維持管理及び運営に民間の資金とノウハウを活用することで、効率的かつ効果的な公共サービスを享受することができる。

#### 従来方式



#### PFI方式／DBO方式／DB方式



### 3 PPP/PFI可能性調査 (3) VFM算出結果

#### ① 事業方式及び事業期間

- ・事業方式：PFI（BTO）方式、DBO方式、DB方式
- ・事業期間：19年間
  - 設計・建設期間：4年間
  - 維持管理・運営期間：15年間

#### ② 対象とする管理運営の範囲

- パターン1：新水泳場のみ
- パターン2：新水泳場＋25mプール
- パターン3：新水泳場＋既存施設
- パターン4：新水泳場＋既存施設＋陸上競技場等

新水泳場（＋25mプール）にPFI方式を採用した場合、落札時において事業期間全体の財政負担総額は**18.6%の縮減効果(VFM)**が期待でき、DBO方式（8.7%）やDB方式（5.9%～6.2%）のVFMを大きく上回っている。

■ VFMの比較（現在価値換算後）（単位：百万円）

			事業方式						
			従来方式	PFI方式		DBO方式		DB方式	
1	新水泳場のみ	施設整備費	6,751	5,310	▲ 21.3%	6,170	▲ 8.6%	6,170	▲ 8.6%
		管理運営費(15年間計)	2,740	2,439	▲ 11.0%	2,505	▲ 8.6%	2,740	0.0%
		料金収入（15年間計）	▲ 84	▲ 96	13.6%	▲ 84	0.0%	▲ 84	0.0%
		合計	9,407	7,653	▲ 18.6%	8,591	▲ 8.7%	8,826	▲ 6.2%
2	新水泳場 ＋25mプール	施設整備費	6,751	5,310	▲ 21.3%	6,170	▲ 8.6%	6,170	▲ 8.6%
		管理運営費(15年間計)	3,323	2,943	▲ 11.4%	3,037	▲ 8.6%	3,323	0.0%
		料金収入（15年間計）	▲ 160	▲ 182	13.6%	▲ 160	0.0%	▲ 160	0.0%
		合計	9,913	8,071	▲ 18.6%	9,047	▲ 8.7%	9,333	▲ 5.9%

※落札時のVFM



### 3 PPP/PFI可能性調査 (3) VFM算出結果

● 予算（予定価格）段階でのVFMを算定するための**コスト削減率**を、民間事業者へのヒアリング結果に基づき**算定**（右表）。

・民間事業者が自ら整備する**新水泳場のコスト削減率は比較的大きい**。

・建築年の新しい**陸上競技場のランニングコストも一定の削減効果がある**という結果。

・**既存施設**については**工夫の余地が少ないこと、経年劣化等が予想されるため、コスト削減率はゼロ**。

● このコスト削減率にてVFMを算定した結果、**新水泳場にPFI方式を採用した場合、8.6%～11.9%の財政負担の縮減効果**

● **予算(予定価格)の段階で、従来方式よりも財政負担が縮減されており、落札段階では、更なる財政負担縮減が期待**



● 平成30年度より、**PFIによる新水泳場整備を前提とした事業手続きを開始**

■ヒアリング調査結果に基づくコスト削減率

	新水泳場	既存施設	陸上競技場等
設計・監理費	10.7%	-	-
建設工事費	9.2%	-	-
維持管理・運営費	13.3%	0.0%	6.7%
光熱水費	3.6%	0.0%	7.7%

■VFMの比較（現在価値換算後）（単位：百万円）

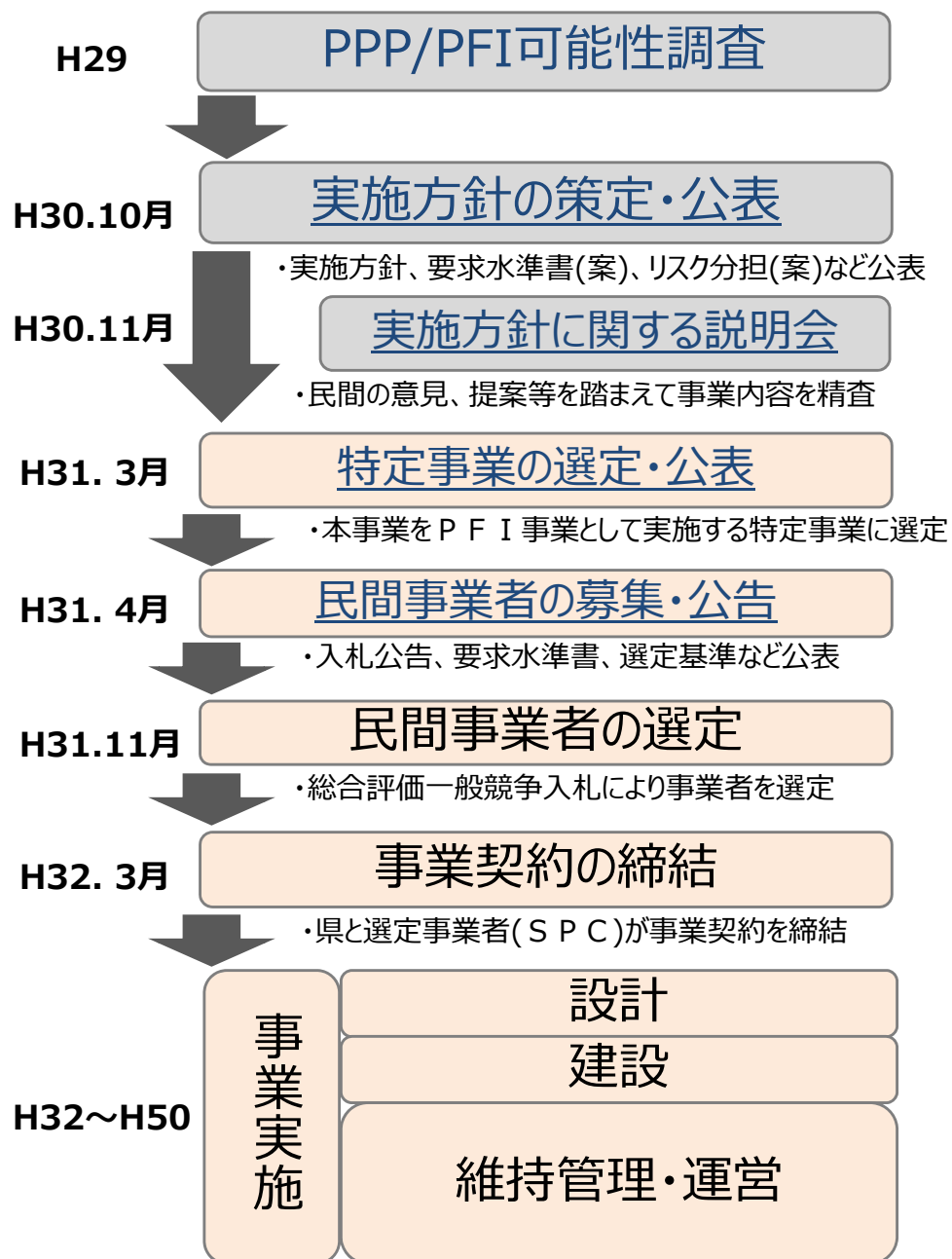
※予定価格時のVFM

		従来方式	PFI方式		
1	新水泳場のみ	施設整備費	6,751	5,840	▲ 13.5%
		管理運営費(15年間計)	2,740	2,536	▲ 7.4%
		料金収入(15年間計)	▲ 84	▲ 84	0.0%
		合計	9,407	8,292	▲ 11.9%
2	新水泳場 +25mプール	施設整備費	6,751	5,840	▲ 13.5%
		管理運営費(15年間計)	3,323	3,119	▲ 6.1%
		料金収入(15年間計)	▲ 160	▲ 160	0.0%
		合計	9,913	8,798	▲ 11.2%

(参考)

3	新水泳場 +既存施設	施設整備費	6,751	5,840	▲ 13.5%
		管理運営費(15年間計)	6,789	6,585	▲ 3.0%
		料金収入(15年間計)	▲ 920	▲ 920	0.0%
		合計	12,620	11,505	▲ 8.8%
4	新水泳場 +既存施設 +陸上競技場等	施設整備費	6,751	5,840	▲ 13.5%
		管理運営費(15年間計)	9,450	9,055	▲ 4.2%
		料金収入(15年間計)	▲ 1,025	▲ 1,025	0.0%
		合計	15,176	13,869	▲ 8.6%

## 4 実施方針の策定・公表 (1)PFI手続き



### ◆実施方針等の策定・公表

PFI法では、PFI事業を実施する場合、入札公告に先立って、実施方針を策定及び公表することとされている。

実施方針の策定及び公表の意義は、新水泳場の整備にあたってPFI方式の採用を検討していることを周知するとともに、事業内容等について具体的に示すことで、民間事業者の事業参入のための検討を容易にし、それに対する意見等を聴取することにより、より効率性・実効性の高い事業実施条件を検討することにある。

### ◆特定事業の選定・公表

PFI事業として実施することの妥当性をさらに詳細に検討・評価し、PFI事業の実施を決定することを意味する。

実施方針で公表した事業に関して、受け付けた意見・質問を踏まえ、事業内容を見直したり、条件を詳細に決定したりし、PFI事業で実施することにより、公共施設等の設計、建設、維持管理等を効率的かつ効果的に実施できるかどうかについて評価を行う。評価の結果、当該事業に財政支出の削減やサービス向上などの効果(VFM)が認められる場合は、当該事業を特定事業として選定する。

### ◆民間事業者の募集・公告

入札の実施にあたり、入札説明書、要求水準書、落札者決定水準、契約書案等を公表すると共に民間事業者に入札説明書等に対して質問を行う機会を設け、当該事業に対する民間事業者の理解を含め、より良い提案を受けを促す。

選定にあたっては事業を実施する民間事業者の選定委員会を開催し、公募・評価・選定を行う。なお、都道府県はWTO政府調達協定の適用団体となるため、選定方法は総合評価一般競争入札が前提となる。

# 4 実施方針の策定・公表 (2) 実施方針の概要

## 【事業概要】

- 国スポに向けた**国内公認屋内50mプールの整備**
- 事業手法として**県では初のPFI**の導入を検討
- 設計・建設のほか**15年間の管理運営**を実施
- 新水泳場**のほか**両運動公園(既存施設)の管理運営**
- 財政負担の軽減**と**サービス水準の向上**を図る

## 【事業範囲】

### 設計・建設

・新水泳場(公認50m国内基準競泳プール)



新青森県総合運動公園(宮田)

青森県総合運動公園(安田)

### 維持管理・運営

- ・新水泳場
- ・総合体育館(マエダアリーナ)
- ・屋外施設(テニスコート、球技場等)
- ・整備中施設(新陸上競技場)

### 維持管理・運営

- ・屋外施設(野球場、広場等)

## 【選定手順と参加資格】

- 学識経験者等で構成される**審査委員会**を設置
- 審査委員会にて選定された**最優秀提案者**を総合的に評価したうえで**県が落札者を決定**。
- 設計、工事監理、建設工事の参加資格には**積雪寒冷地**での**屋内公認プール施工の実績**

## 【スケジュール(案)】

事業名	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38~H50
新水泳場	基本計画	実施方針公表 公募・選定		設計・工事 (~H35)				リハーサル大会	国民スポーツ大会	運営
	参入可能性調査									
新青森県総合運動公園 青森県総合運動公園 (既存施設)										
陸上競技場 (整備中施設)		工事 (~H30.12)								

## 4 実施方針の策定・公表 (3) 要求水準書(案)の概要

### 【新水泳場の基本方針】

- 国スポ等の**大規模大会の開催可能な水泳場**
- 通常時の県民の一般利用**にも配慮
- 多雪地域、ユニバーサルデザイン**に配慮
- 省エネルギー化と環境**に配慮

### 【新水泳場の概要】

- 日本水連公認**屋内50mプール** (国内一般プール・AA)
- 延床面積：**8,800㎡**程度
- 観客席数：**2,000席**程度 (仮設含む)
- 競泳、水球、アーティスティックスイミング**の競技が可能
- 水深最大**2.1m** (可動床・可動壁整備)
- プール内に**自由提案施設**の設置が可能
- 既存の**25mプール**との連携

### 【完成イメージ】



### 【計画予定地】



ご清聴ありがとうございました。